

科目名	政治・経済 Politics and Economics			担当教員	山岡健次郎		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	10G03_20030	単位区別	履修
学習目標	1. 国のあり方を謙虚に探求し,平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する。 2. 現代における政治・経済・社会の基本的な知識を習得する。 3. 現代社会の諸課題を公正に判断し,主体的に取り組む能力と態度を身につける。						
進め方	各学習項目ごとに教科書を中心に基本事項を説明し, 板書, プリント配布等を通じて理解させる。 作業・調査学習等を通じて, 自らが社会人として関係していく存在であることを自覚させる。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 民主主義の基本原理と日本国憲法 (2) 2. 政治とは何か (2) 3. 人権とは何か (2) 4. 平和と安全 (2) 5. 平等と自由 (2) 6. 国会・内閣・裁判所について (2) 7. 政党と選挙制度 (2)			政治と国家, 民主主義思想, 基本的人権とは何かを理解し, 憲法の基本原理, 日本の政治の仕組みを理解する。 A1:4 憲法9条を考える力を身につける。 A1:3 法の下での平等と自由権を理解する。 A3:4			
	[前期中間試験] (1)						
	8. 試験問題の解答 (1) 9. 経済社会の変容と経済のしくみ (2) 10. 経済主体と経済活動 (2) 11. 市場経済と景気変動 (2) 12. 財政の仕組み (2) 13. 金融について (2) 14. 日本の経済 (2) 15. 国際経済の諸課題 (2)			資本主義経済のしくみ, 経済主体と経済活動, 市場経済の機能, 景気の変動, 財政の仕組み, 租税と国債, 金融等に関する基本事項を理解する。 A2:1, A3:1			
	前期末試験						
	16. 試験問題の解答 (1) 17. 現代の国際政治と日本 (2) 18. 少子高齢社会と社会保障 (2) 19. 住民生活と地方自治 (2) 20. 産業構造の変化と中小企業 (2) 21. 農業と食糧問題 (2) 22. 消費者問題と消費者保護 (2) 23. 労使関係と労働市場 (2)			国際社会における法と国際連合の役割を理解し, 国家の安全保障と現実に生じている国際紛争を通して, 平和のあり方を考察する力を身につける。 A3:2,3 国際経済のしくみと特質を理解する。 A3:4			
	[後期中間試験] (1)						
	24. 試験問題の解答 (1) 25. 地球環境問題 (2) 26. 核兵器の廃絶と軍縮 (2) 27. 人種・民族問題 (2) 28. 南北問題と国際協力 (2) 29. 経済摩擦と外交 (2)			現代社会に生じるさまざまな諸課題を学生自らが考え, レポートとしてまとめる力を身につける。 A1:1,2 A2:2			
	後期末試験						
	30. 試験問題の解答 (1)						
評価方法	定期試験70%, 作業活動・課題レポートの提出等30%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	地理 (1年) → 歴史 (2年)・倫理・社会 (2年) → 法学 (5年)						
教材	教科書:「高等学校 改訂版 新政治・経済」						
備考	特になし。						